

Jミルクが2021年10月1日に公表した「需給見通し(※2021年7月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

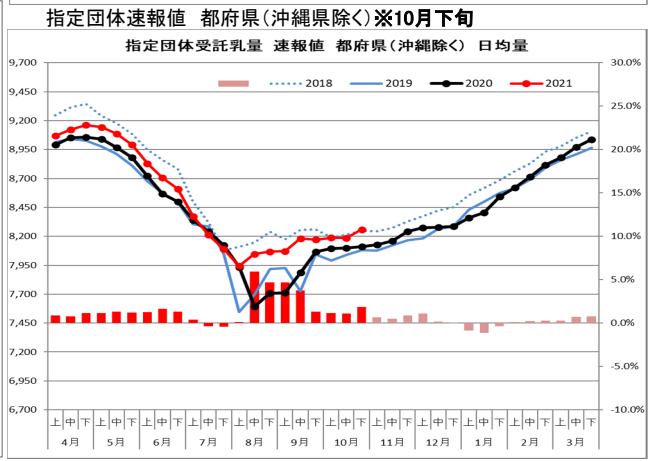
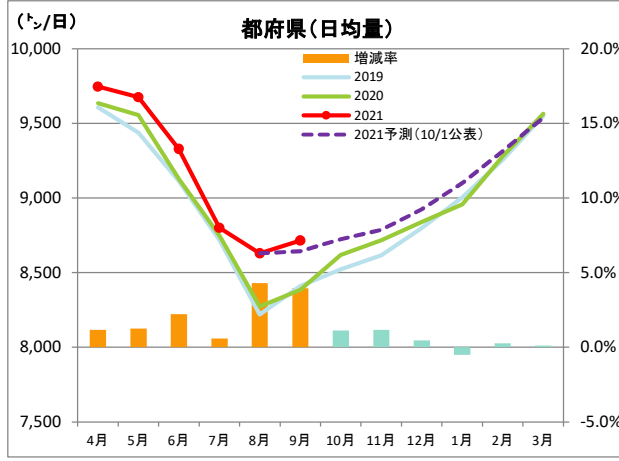
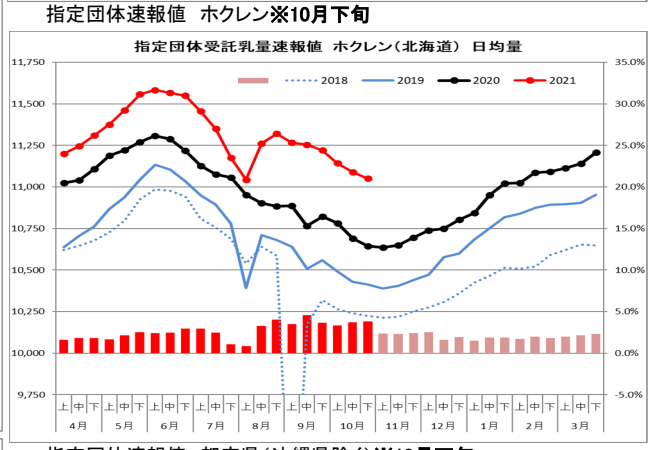
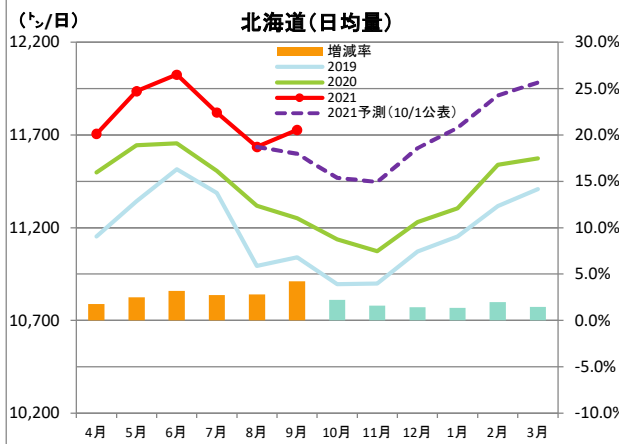
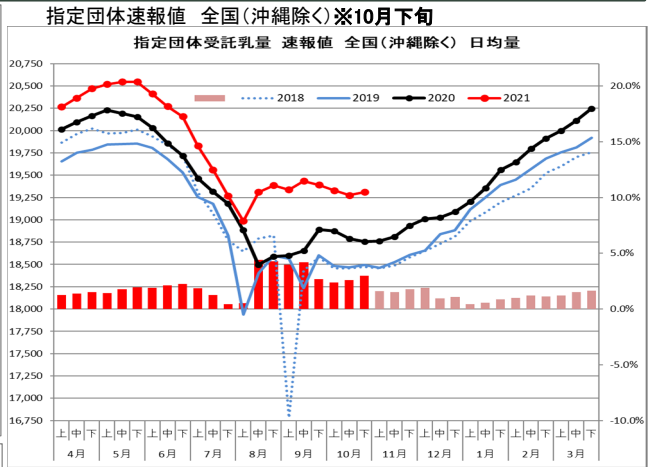
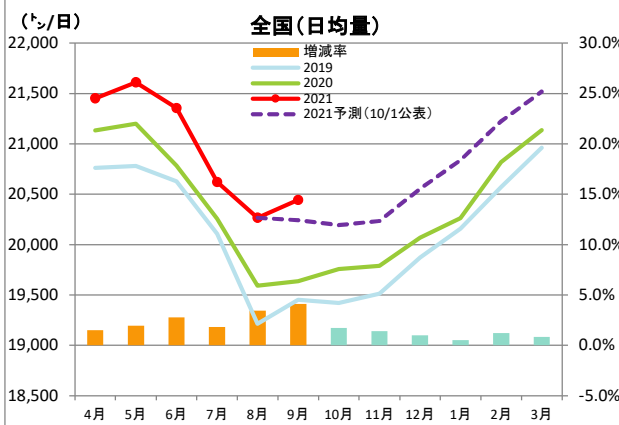
《家庭内消費の継続的な拡大努力が重要～年末年始に向けて業界一体となった対応を～》

- ・9月の需給実績について、生乳生産は北海道・都府県ともに予測を上振れて好調に推移したが、飲用需要については、引き続き前年を下回っており、脱脂粉乳・バター等向の処理量は前年より大きく増加した。
- ・10月の牛乳販売動向(インテージSRI+実績:前年比98.0%、Jミルク予測:前年比99.9%)については、統計が高めに出ることを勧奨すると、予測値から大きく振れずに推移しているものと推察される。
- ・直近(11/1週)の牛乳類の家庭内消費については、前週(10/25週)と同程度の販売個数で推移しており、引き続き前年を下回っている。また、ヨーグルト類についても前週から大きな変動はなく低調に推移しており、家庭用バターについては販売個数が前週から若干減少した。
- ・制限措置の解除から一ヶ月以上経過したが、家庭内需要は低調な状況が続いているとともに、業務用需要についても期待された程の回復は見られないとの声もある。厳しい需要環境にあるが、需給の大幅緩和が想定される年末年始を見据えて、需要喚起に最大限取り組んでゆく必要がある。

※年末年始需給対応緊急オンライン説明会(オンデマンド配信) <https://www.j-milk.jp/news/2021kibaninfo.html>

【生乳生産量】※増減率は、日量で算出。

- (1)9月の生乳生産量は、全国613千ト(前年同月比104.1%)、北海道352千ト(同104.2%)、都府県261千ト(同104.0%)。
- (2)Jミルク予測値(全国:607千ト、北海道:348千ト、都府県259千ト)から北海道・都府県ともに大きく上振れて推移している。
- (3)直近の指定団体速報値によると、全国が同103.0%(10月下旬)、北海道が同103.8%(10月下旬)、都府県(沖縄除く)が同101.8%(10月下旬)。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

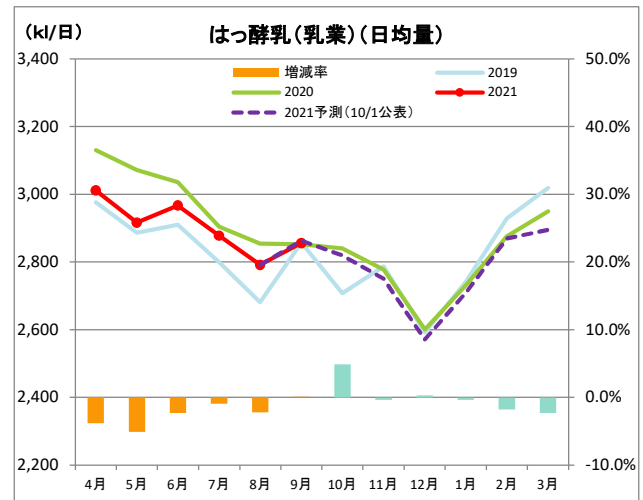
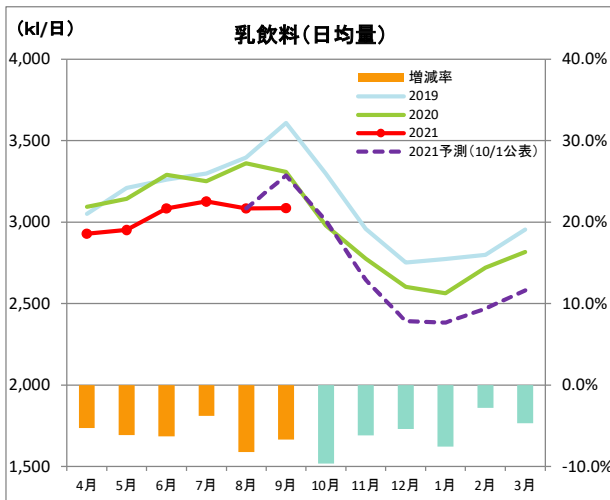
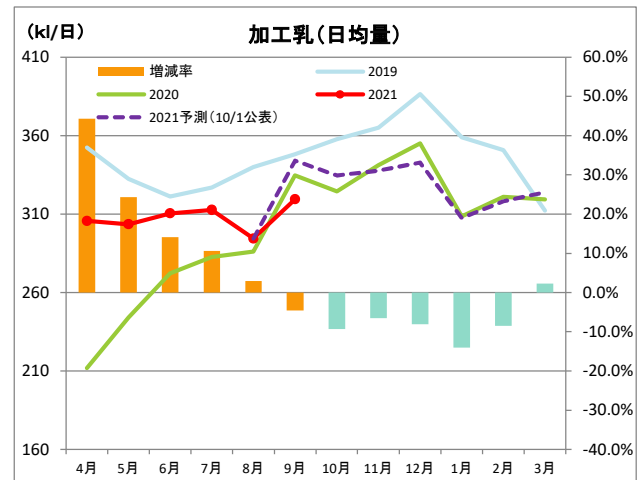
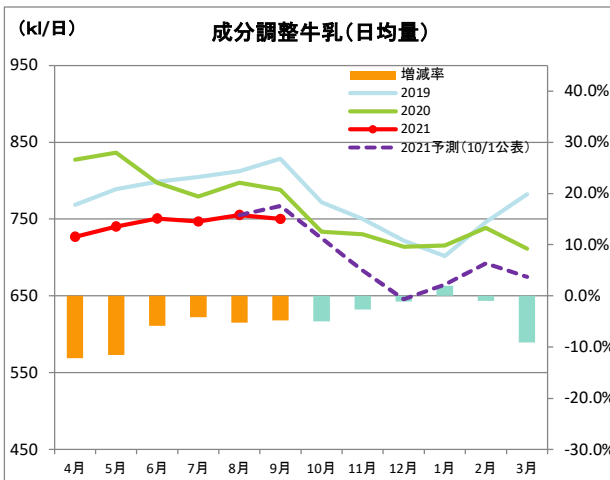
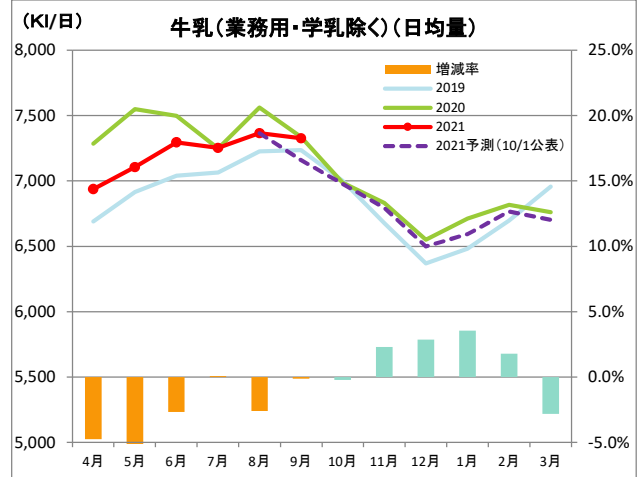
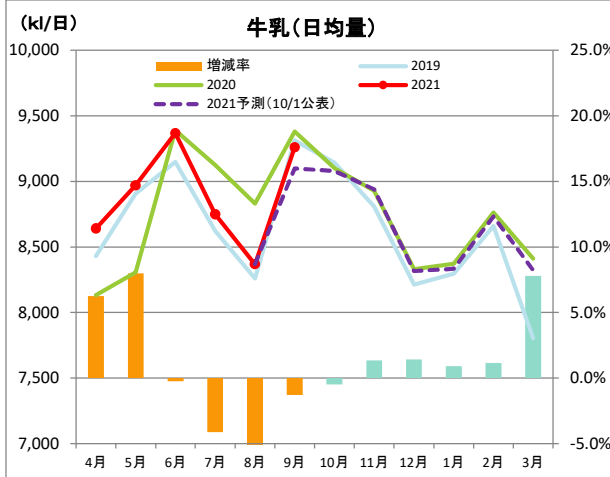
(1)9月の牛乳等生産量は、牛乳278千kl(前年同月比98.7%)、成分調整牛乳23千kl(同95.2%)、加工乳10千kl(同95.3%)、乳飲料93千kl(同93.3%)となり、牛乳類合計では402千kl(同97.1%)となった。

なお、予測との比較では、牛乳は若干上振れしているが、加工乳・乳飲料は下振れしている。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同99.9%、「業務用」は同98.8%。

(3)はっ酵乳(乳業)は86千kl(同100.3%)と前年並みで推移している。

また、非乳業実績(8月)については、同96.0%と前年を下回って推移している。

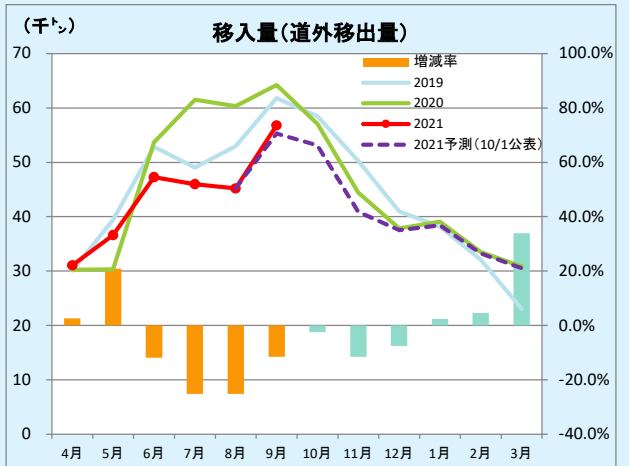
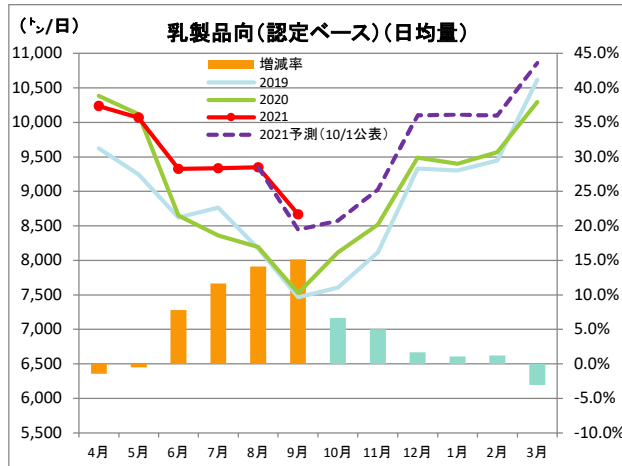
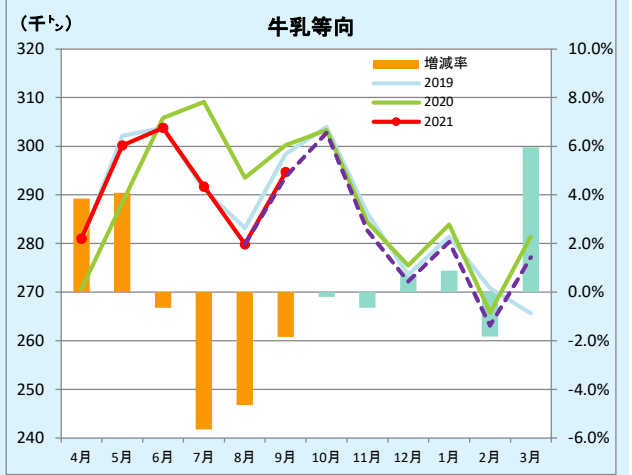
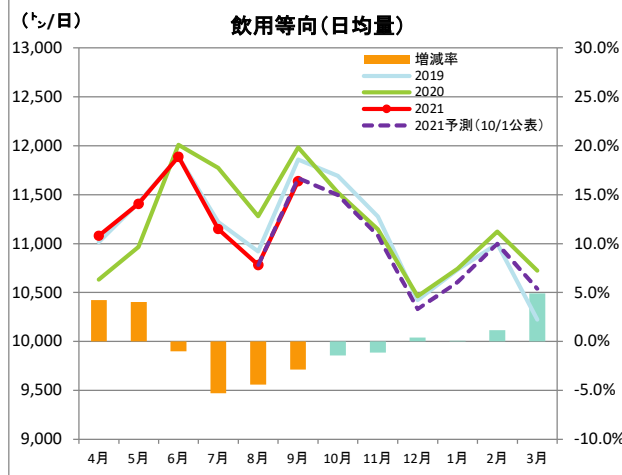
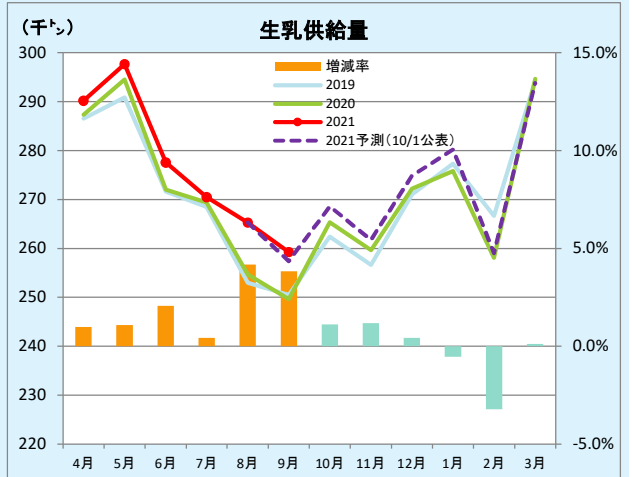
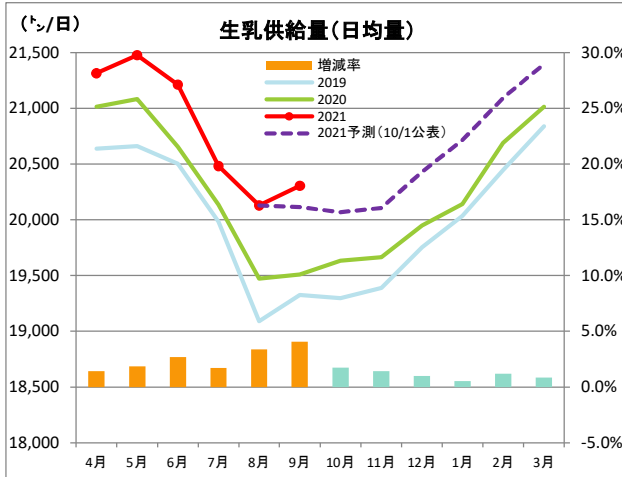


【用途別処理量】※増減率は、日均量で算出。

(1)9月の生乳供給量は609千トン(前年同月比104.1%)、飲用等向349千トン(同97.1%)、乳製品向(認定ベース)260千トン(同115.1%)。
 (2)予測値との比較では、飲用等向(予測値:350千トン)は同程度、生乳供給量(予測値:603千トン)と乳製品向(予測値:253千トン)は上振れで推移している。

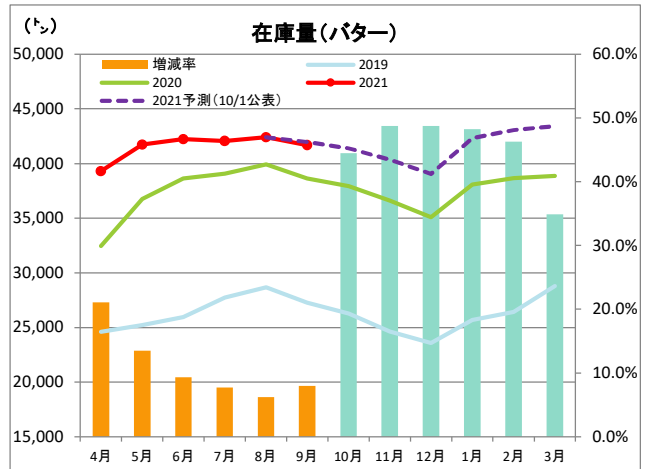
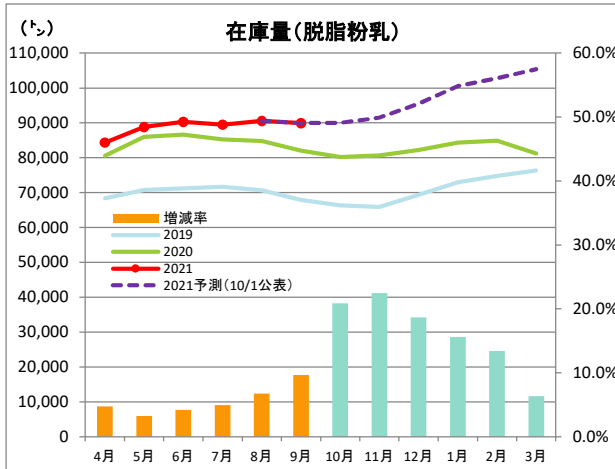
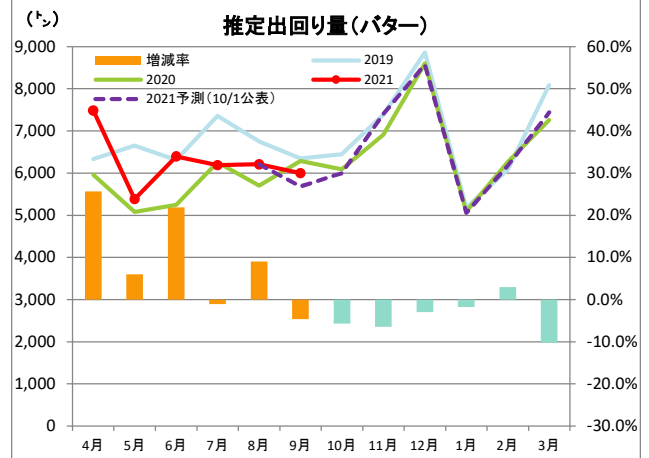
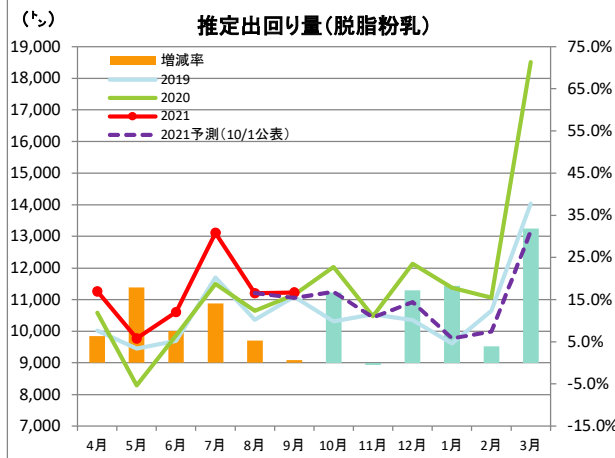
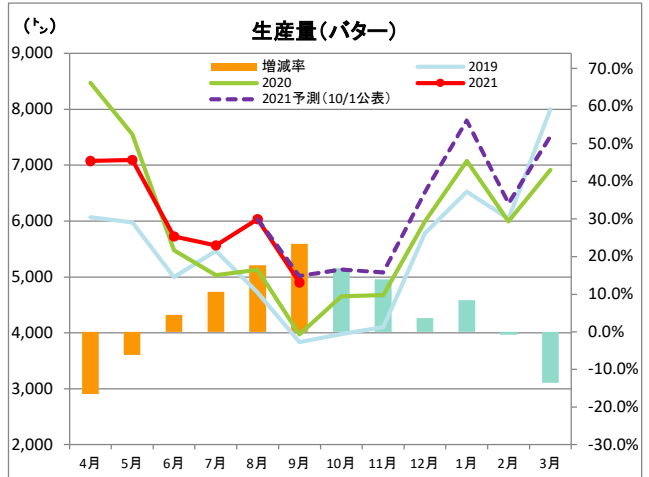
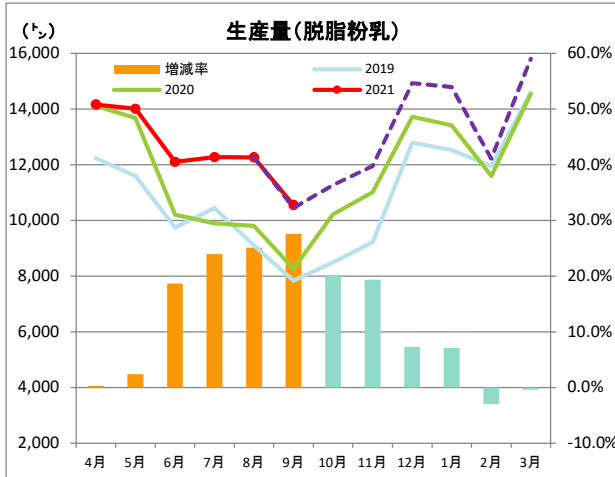
【都府県の生乳需給】

(1)9月は、生乳供給量259千トン(前年同月比103.8%)、牛乳等向295千トン(同98.2%)。
 (2)北海道からの移入量について、57千トン(同88.4%)と前年大きく下回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:257千トン)、牛乳等向(予測値:294千トン)、北海道からの移入量(予測値:55千トン)ともに若干上振れで推移している。



【脱脂粉乳・バター需給】

(1) 脱脂粉乳は、9月の生産量は10.5千トン(前年同月比127.6%)、推定出回り量は11.2千トン(同100.7%)、その結果、在庫量は89.9千トン(同109.7%)。推定出回り量(≒需要量)は前年並みで推移している。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:11.0千トン)は同程度で推移している。
 (2) バターは、9月の生産量は4.9千トン(同123.4%)、推定出回り量は6.0千トン(同95.4%)、その結果、在庫量は41.7千トン(同108.0%)。
 推定出回り量(≒需要量)は前年を下回って推移している。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:5.7千トン)は上振れして推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)10月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比98.0%、成分調整牛乳:同96.2%、加工乳:同102.7%、乳飲料:同92.4%。
牛乳類では同97.1%

【参考】2019年度比…牛乳:99.8%、成分調整牛乳:94.5%、加工乳:89.1%、乳飲料:86.7%(牛乳類トータル:97.0%)

・販売単価は、牛乳:189.7円、成分調整牛乳:173.1円、加工乳:190.7円、乳飲料:150.0円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(11/1週)の販売個数は、牛乳:前年同期比96.0%、成分調整牛乳:同94.3%、加工乳:同101.4%、乳飲料:同91.3%。
牛乳類トータルでは同95.2%

【参考】2019年度比…牛乳:98.4%、成分調整牛乳:93.1%、加工乳:90.7%、乳飲料:86.7%(牛乳類トータル:96.0%)

・販売単価は、牛乳:189.2円、成分調整牛乳:172.2円、加工乳:189.5円、乳飲料:149.9円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

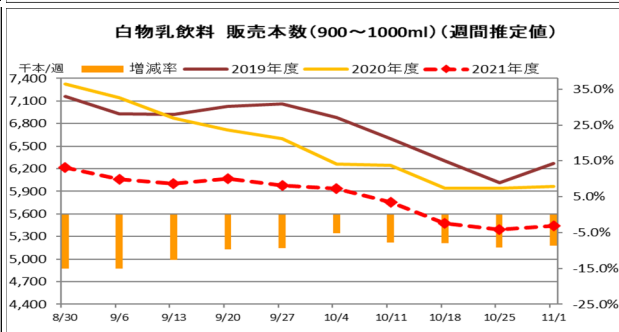
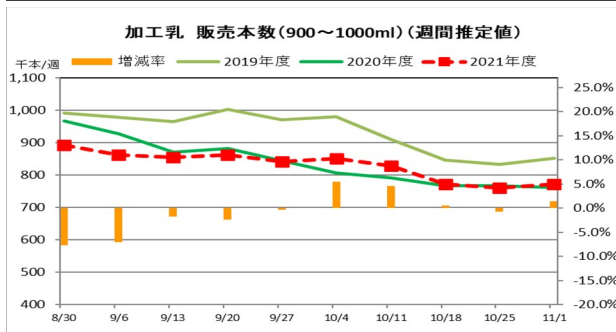
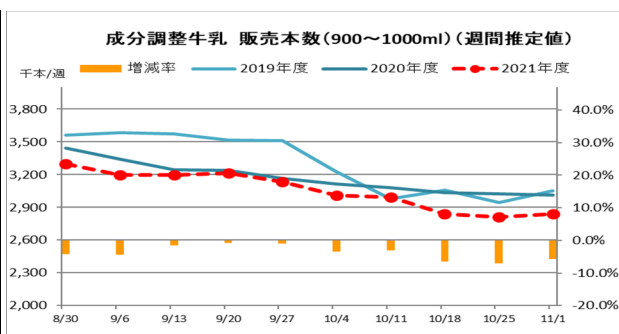
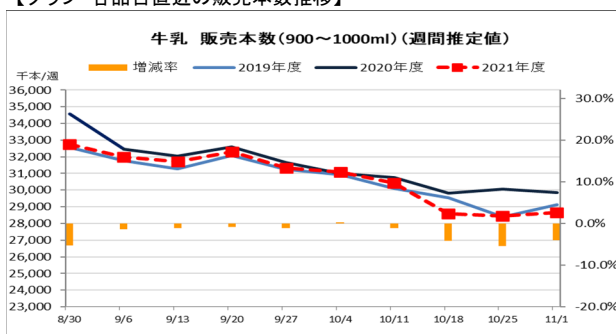
単位:千個、円

品目	区分	2021/6-	2021/7-	2021/8-	2021/9-	2021/10-
		販売個数	181,385	188,734	193,843	179,996
トータル	販売個数前年比	94.0	98.2	94.6	95.9	97.1
	販売単価	182.3	183.0	183.5	182.9	182.7
牛乳	販売個数	138,006	143,919	147,756	136,745	132,568
	販売個数前年比	94.9	99.8	95.5	97.7	98.0
成分調整牛乳	販売個数	13,413	13,921	14,478	13,642	13,065
	販売個数前年比	94.8	98.0	98.2	96.4	96.2
加工乳	販売個数	3,599	3,804	3,958	3,676	3,576
	販売個数前年比	90.7	96.6	97.2	94.6	102.7
乳飲料	販売個数	26,367	27,090	27,651	25,934	25,190
	販売個数前年比	89.8	90.9	88.2	87.0	92.4
	販売単価	150.1	150.7	150.7	150.4	150.0

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	9.13-	9.20-	9.27-	10.4-	10.11-	10.18-	10.25-	11.1-
		販売個数	41,761	42,451	41,293	40,894	39,987	37,676	37,399
トータル	販売個数前年比	97.0	97.8	97.7	99.3	97.8	95.2	94.0	95.2
	販売単価	182.9	182.9	182.8	182.8	182.9	182.6	182.5	182.2
牛乳	販売個数	31,703	32,309	31,336	31,092	30,416	28,593	28,440	28,669
	販売個数前年比	98.9	99.2	98.9	100.3	98.9	95.8	94.6	96.0
成分調整牛乳	販売個数	3,198	3,213	3,135	3,011	2,990	2,838	2,810	2,841
	販売個数前年比	98.5	99.2	99.0	96.6	97.0	93.6	92.9	94.3
加工乳	販売個数	855	862	842	851	828	772	761	772
	販売個数前年比	98.2	97.6	99.6	105.4	104.5	100.5	99.2	101.4
乳飲料	販売個数	6,005	6,067	5,979	5,940	5,753	5,473	5,389	5,441
	販売個数前年比	87.4	90.3	90.6	94.9	92.1	92.1	90.8	91.3
	販売単価	150.6	150.3	150.1	150.0	150.2	149.9	149.6	149.9

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】


(1)直近の週次動向(表③参照)


直近(11/1週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全ての品目で前週(10/25週)と同程度の水準で推移している。


【表③ ヨーグルト類の販売動向】


品目	9.13-	9.20-	9.27-	10.4-	10.11-	10.18-	10.25-	11.1-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	→	↘	→	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘


 :前年比90%未満

 :前年比105%以上110%未満

 :前年比90%以上100%未満

 :前年比110%以上120%未満

 :前年比100%以上105%未満

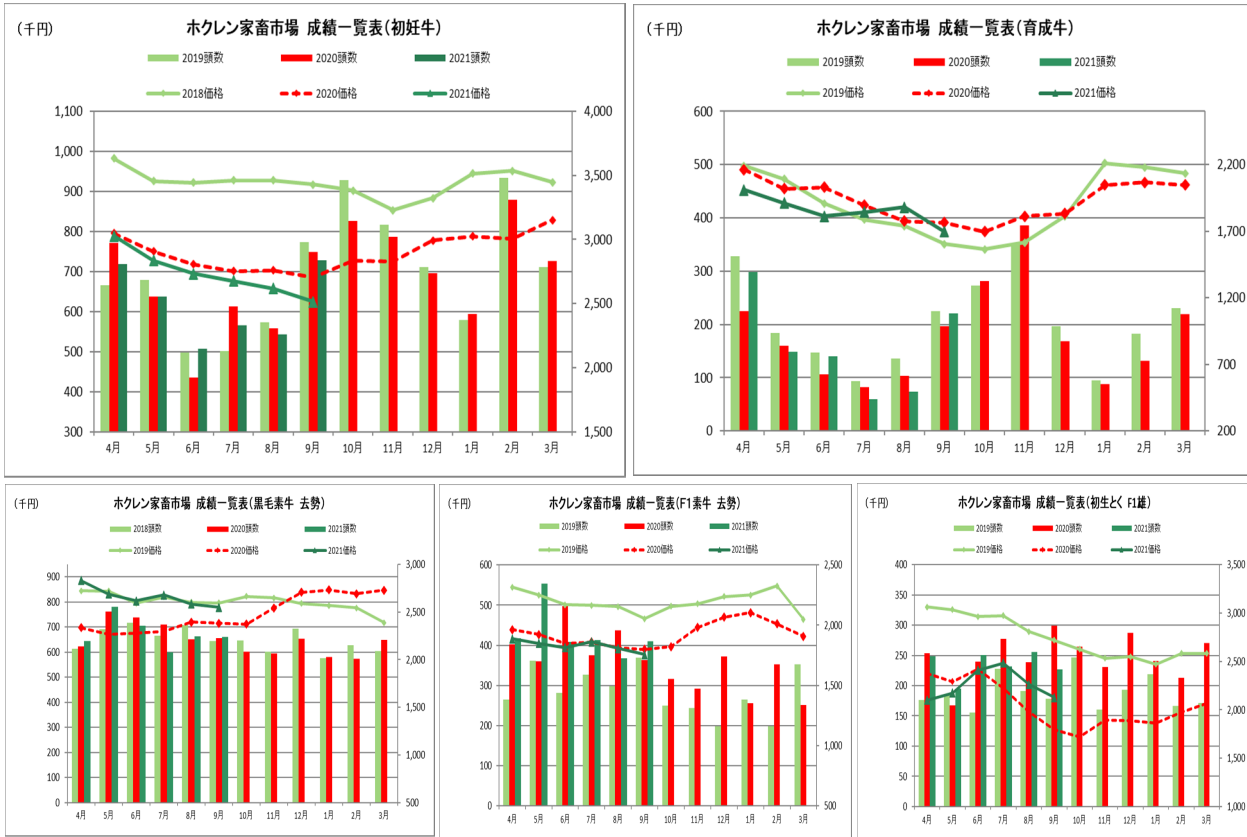
 :前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向】

(1)9月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は625千円(前年同期比91.1%)、育成牛価格は374千円(同95.7%)、和牛素牛(去勢)価格は779千円(同109.0%)、F1素牛(去勢)価格は377千円(同96.7%)、F1初生(雄)価格は180千円(同141.5%)。
 (2)上場頭数(出荷り頭数)は、初妊牛:同97.8%、育成牛:同109.7%。また、和牛素牛(去勢):同100.6%、F1素牛(去勢):同108.9%は前年を上回ったが、F1初生(雄):同84.3%と前年を大きく下回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



【飼料価格動向】

(1)配合飼料・とうもろこしの価格については、高止まりで推移している。
 (2)輸入粗飼料(乾牧草・ヘイキューブ)の価格は、5月以降は前年を上回って推移している。

※農林水産省「農作物価統計」、財務省「貿易統計」

